

第3回健康づくり推進専門分科会以降の計画修正箇所一覧

令和7年10月17日(金)付けで書面開催された第3回健康づくり推進専門分科会以降に、地域保健地域保健福祉審議会委員等の皆様からいただいたご意見、また、そのご意見の計画への反映状況をまとめたものです。

第4回健康づくり推進専門分科会では、修正後の計画(最終案)をご確認いただきたいと考えております。

今回の専門分科会の後、令和8年2月13日(金)に開催される地域保健福祉審議会で、計画について答申が行われます。

No	該当ページ	該当箇所	ご意見	反映状況	備考
1	P27～29	第2章 瑞穂町の現状 保健福祉に係る状況	町の健診受診率や予防接種率等の推移が%で示されているが、全国や東京都との比較があると、現状が把握しやすい。	町と国、東京都の比較ができるよう表を追加	第3回 地域保健 福祉審議会
2	P109	第4章 計画の基本的な考え方 計画の基本目標 4 いきいきと暮らすための健康づくり	メンタル面の対策が少ない印象を受ける。「こころの健康づくり」の視点を加えてはいかかが。	基本施策(2)健康増進の充実の取組として「⑥休養・心の健康づくり」を掲げていること、また、今後の5年間の方向性において、地域保健福祉計画の関連(下位)計画である「いのち支える瑞穂町自殺予防行動計画」に係る掲げる施策を推進することから、文言については、原文のままとする。	第3回 地域保健福祉 計画専門分科会
3	P139	第5章 施策の展開 生活習慣の改善に向けたライフステージ別の取組	(喫煙・飲酒・薬物と健康被害の青壮年期) 青壮年期は、一番飲酒の機会が多いと考える。「住民のできること」として、飲酒についても記載が必要ではないか。	青壮年期の住民のできることに「飲酒の健康影響を知り、節度ある適切な飲酒を実践する」を追加するとともに、中高年期、高齢期についても同様の文言に修正	第3回 健康づくり 専門分科会 (書面開催)
4	P140	第5章 施策の展開 基本目標4の評価指標	アンケート調査から睡眠による休養が「あまりとれていない」、「とれていない」を合わせると約27%となる。 こころの健康づくりのためには休養も大切なことと考えられるため、評価指標に睡眠による休養を加えてはいかかが。	評価指標に「睡眠で休養がとれている者の割合」を追加	第3回 地域保健福祉 計画専門分科会